

広報



やまこし

2005
1月
第436号

かならず帰る！
私たちのやまこしむら

今回の新潟県中越地震被災地より戻られた方々の写真展を折り返しと
し、「被災された方々にはかならず見舞いを申し上げます。」

第17回 四季の山古志写真コンテスト推薦 山古志村長賞「帰路」新堀勝彦(埼玉県) 撮影地 竹沢

山古志村新潟中越地震災害対策本部

山古志村役場 長岡事務所

〒940-0084

長岡市幸町1丁目2番31号(長岡市役所分室内)

☎ 0258-30-1035 fax 0258-32-6103

平成16年度 四季の山古志写真コンテスト作品

この美しい山古志村を取り戻し、必ず帰ると言う思いを込めて
カレンダーを作成しました。移り変わる四季の山古志村の風景が
村を離れた私たちを勇気づけてくれることと思います。

カレンダーのお問い合わせは
山古志村役場(TEL 30-1035)までお願いします。
四季の山古志カレンダー 2,000円

- 表紙 山古志村長賞「帰路」 新堀勝彦(埼玉県)
- ①特選 毎日グランプリ「留学生の雪国体験」 長谷川弘二(見附市)
 - ②特別賞 新潟観光協会長賞「鯉の池上げ」 田中真治(十日町市)
 - ③特別賞 新潟県知事賞「夜明け」 甲田晴章(長岡市)
 - ④春の部・新潟県毎日会賞「早春のいぶき」 逆井アサ子(千葉県野田市)
 - ⑤夏の部・新潟毎日広告社賞「霧湧く」 安藤堅一(山形県寒河江市)
 - ⑥秋の部・スポーツニッポン新聞社賞「刈入れの頃」 桶川久子(北海道)
 - ⑦冬の部・日本報道写真連盟賞「初雪の朝」 畔原 実(分水町)

※カレンダーの写真は主に上記の入選作品ですがそれ以外の写真も使用されています。





大きな地すべりで道路や水道施設が土砂に埋まった。
(県道柏崎高浜堀之内線・虫亀)



棚田や道路にひびが入り地すべりが多数発生
(村道油夫山中線)



緩やかな傾斜地でも地すべり発生。道路が消滅した。
(国道291号線) 梶金-小松倉間



地すべりにより防雪柵が落下 (国道291号線) 竹沢-梶金間



大規模な地すべりにより道路は崩れ河道閉塞が起こった。(県道栃尾山古志線 種芋原・寺野)



余震が続く恐怖の中、
夜を明かした。



集落で集まって
(10月24日大久保)



桂谷地区を襲った大規模な地すべり。

十月二十三日 私たちの経験した事のない大地震が愛すべき山古志村を襲いました。

村民のすべてが被災をし、村民すべてが山古志村の悲しい姿を目の当たりにすることになりました。先人からの大切に受け継いだ歴史・文化、先祖から受け継いだ大切な財産、すべてのものが一度にして姿を変えませんでした。

でも、あの悲惨な状況の中でも、村民は心をひとつにして、頑張ってくれました。

一番大切な人と人の絆、そのことを大切にしてくれました。私はそのことに深い感銘を覚えています。

あの災害でも、私たちが山古志村を愛する心は壊されませんでした。

この気持ちがある限り、必ず山古志村は緑の村として復興できます。

山古志村へ必ず帰ろう。皆で心の叫びをあげて下さい。大切な大切な人と人とのふれあいの中で生きられる山古志村を再び、日本のふるさととして再生してゆこうと思います。

皆様に具体的な方向を示すため、国県から大きな、ご協力をいただきながら、日夜頑張っています。

国や県からも山古志村支援チームを作ってくださいました。できるだけ早く、できるだけ確実な復興案を示したいと考えます。

どうか皆様も健康に留意され頑張ってくださいますよう心よりお願い申し上げます。

山古志村村長 長島忠美



地すべりなどで多くの家屋に被害が。



集落内に大規模な地すべりが発生。(油夫)



水没の危機のある車を、畳やわらなどで作った仮道路で救出。(木籠)



越冬前の錦鯉に数多く被害が。



大きなゆれで墓石は崩れ、お骨がのぞく墓も。



上空からの山古志の様子に呆然。避難所への帰路で「早く帰りたい」と漏らす子供も。(11月14日)



一時帰村

自衛隊の協力によりボートで帰村(楢木)

変わり果てた故郷の姿を目にする木籠地区住民



避難所最後の日。避難所生活を支えてくれた自衛隊や高校の方々に感謝をささげた。(12月14日長岡大手高校体育館)



天皇皇后両陛下がお見舞いのためご訪問

両陛下から暖かい励ましのお言葉を賜りました。(長岡大手高校 11月6日)



避難所では、自主的に掃除。(長岡高校小体育館)



村内の学校はそれぞれ長岡市内の南中学校と坂之上小学校内に山古志中学校・山古志小学校を設置。授業が再開された。

12月22日、全避難所が閉鎖され村民は仮設住宅に引っ越しました。避難所では施設の関係者を始め自衛隊、ボランティア等たくさんの方々に大変お世話になりました。

●平成16年新潟県中越大地震で被災された方々に対し、お見舞いとして寄せられる義援金を受け入れています。

口座名義	山古志村新潟中越地震災害対策本部	北越銀行 本店 普通 1721514
	本部長 長島 忠美	郵便振替 00570-9-356

●平成16年新潟県中越大地震により被災した、山古志村の復興に充てるために山古志村復興基金を設置しました。

口座名義	山古志村復興基金	郵便振替 00540-5-44035
------	----------	--------------------

皆さんの励ましの言葉に元気をいただきました。



「がんばろう中越」あたたかい



漫画家の方からのメッセージ

同じく全村避難を経験した三宅村長から激励の言葉 (11月11日)



サッカードリフチームが山古志の子供たち会に。(12月3日)



画家が避難所を訪問 (10月26日)

画家の原田泰治さんと歌手のさだまさしさん (12月2日)



小林幸子さんは8ヶ所避難所を訪問 (11月18日)

その他にも全国各地から寄せられた応援メッセージは避難所に飾られ私達を勇気づけてくれました。

広報

お知らせ版
1月6日

やまこし

大好^{ヨリ}な山古志村に
時間^{ヨリ}どをいがかも
帰^{ヨリ}ろう
比^{ヨリ}なで力を合せて
帰^{ヨリ}ろう
かんばれ!!
田中トヲ

山古志村の四季の山古志カレンダーを天皇皇后両陛下に送らせていただいたところ、次のような両陛下のお言葉が12月28日宮内庁を通じて届きました。

「雪も降り出したようで ご案内しています。
厳しいひと冬を どうぞつつがなく

過ごされますように。

カレンダー 一枚一枚の風景をめくり
山古志村の復旧・復興・平和を祈っております。」



11月6日長岡大手高校の避難所をお見舞いに見えられたときのご様子

山古志村新潟中越地震災害対策本部

山古志村役場 長岡事務所

〒940-0084

新潟県長岡市幸町1丁目2番31号(長岡市役所分室内)

TEL 0258-30-1035 fax 0258-32-6103

あきらめないで、忘れないで、おぼえていて。
いつかまた、あたらしい村を作るのだから

山古志村ふたたび



2163
681-
37-
30万
山古志村
ふたたび

心を山に残してきた友人たちに
祝福の花が咲きますように
中越地震復興応援写真集
「山古志村ふたたび」
写真 中越地誌 定価2100円 発売中! 小学館発行
この写真集の収益は全部 山古志村復興のために寄付されます



1月中旬より全国の書店で発売されます。